

# 石油給湯機からの出火

## 事故の概要

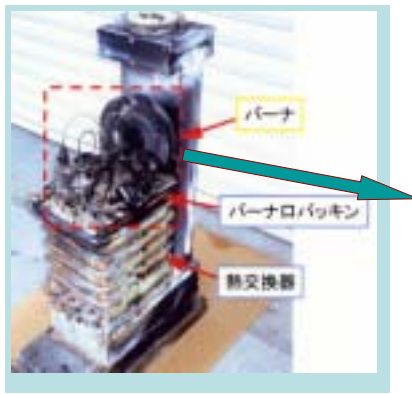
湯を使用していたところ、灯油臭いにおいがし、湯が出なくなったため確認すると、ボイラーから爆音がし、火が出た。(2008年11月 高知県 約10年使用)

## 事故の原因

事故原因は、比例弁付電磁ポンプに使用されている部品のOリング(パッキン)が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して機器内部を焼損したと考えられる。



事故品の外観



事故品の内部



バーナ・電磁ポンプ部拡大

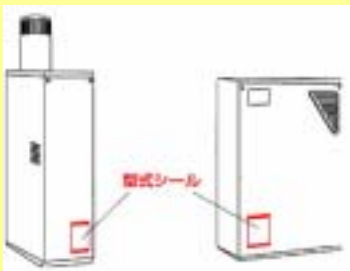


## 事故防止のために

石油給湯器をご使用の方はメーカー名・型式を確認して下さい。

当該製品のメーカー(長州産業株式会社)では、OEM製品を含む対象製品について無償点検を実施しています。対象製品の場合は、使用を続けると、火災が発生する可能性があります。必ず点検を受けて下さい。

当該製品のメーカー名・型式は、  
下記で確認することができます。



問い合わせ先:フリーダイヤル:0120-652-963

【午前9時～午後6時(土日祝日、年末年始を除く)】

[対象機種]

長州産業(株) ブランド名:CIC

PDX-403D、DX-403D、PDF-403D、

DF-403D、DX-403DF

(株)ワカサ(OEM製品) ブランド名:WAKASA

WBF-400C

東京ツチヤ販売(株)(OEM製品) ブランド名:ツチヤ

EX-403A、AX-402A、FK-405A、FC-406A

他社製品でも同様の事故が発生しています。上記以外の社告・リコール製品については、NITEのホームページ等で確認して下さい。 NITE社告閲覧ページアドレス:<http://www.nite.go.jp/jiko/index4.html>